



令和6年3月22日
第149号

八代高校・八代中学校PTA会報

<https://yatsushirohighschool.com/>



▲ホームページ QRコード

特集 高校・中学校卒業式

- PTA活動報告
- 各種表彰



特集 令和5年度 高校・中学校 卒業式

八代高校第76回卒業生・
八代中学校第13回卒業生の
皆さんへ



校長 岩本修一

八代高校の229名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。また、義務教育課程を修了した八代中学校の79名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

そして、卒業生を今日まで支え、励ましてこられた保護者の皆様からお祝いを申し上げますと共に、本校に対するこれまでのご支援、ご協力に対し深く感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さんは中学校生活、高校生活を修了し新たなステージで自己研鑽の旅に出発することとなります。今、皆さんを取り巻く社会は新しい時代への転換期にあり、世界は方向性を探り大きく変化しようとしています。

このような中、皆さんが新たな出発の第一歩を踏み出すにあたり、いくつか希望を述べて、皆さんへの餞の言葉といたします。

First, I hope that you will keep making efforts, improve yourself, and you will move forward and face the challenges in your future.

一つ目は、「努力を積み重ね、前進して欲しい。学びを深め未来へ果敢にチャレンジして欲しい」ということです。卒業生の皆さんには、不断の努力と鍛錬でひと足らずの叡智を磨き育むとともに、「The sky is the limit. 「可能性は無限大」の思いをしつかりと胸に刻み、志を高くもち着実に前進し、未来を見据え果敢にチャレンジすることを期待しています。

Second, I hope that you will be great people who take part in global society.

二つ目は、「社会に積極的に参画する有為な人材であって欲しい」ということです。社会の見識を高め、主体的に行動できる人材が求められています。

Third, I hope that you will always have compassion for others.

三つ目は、「人としての原点と共感する心を大切にして欲しい」ということです。熊本地震を経験した私たちは、改めて自らのことを考えつつ、周りの人と支え合うことの大切さを再認識しました。テクノロジーが進展しグローバルな時代の今だからこそ、人間性が問われ、様々な場面でお出会う他者への優しさや共感する心が求められます。

現代の社会に視点を向けると、人工知能、ビッグデータやロボティクス等の先端技術が高度化していく超スマート社会の中にあつて、人の心が大切に育まなければならない。持続可能なより良い社会を形成することは困難です。変化のスピードが勢いを増し、これからの社会がどう変化していくか不透明で予測困難ですが、皆さん一人ひとりが、本校教育の礎として脈々と受け継がれてきた三綱領「一、誠実にして真理を愛する 一、自律を旨として協和を重んずる 一、闊達にして進取の気象を尚ぶ」の精神をしつかりと胸に刻み、人としての原点を確認しながら、社会にとって、そして皆さんにとってのウェルビーイングを目指して着実に人生を歩んでいって欲しいと願います。

祝辞



PTA会長 金橋 俊雄

卒業生の皆さんの前途に限りない期待を寄せ、幸多からんことを心より祈念します。

熊本県立八代高等学校、八代中学校の卒業生の皆さん、ご卒業誠におめでとうございませう。卒業生の皆さんの門出を心よりお喜び申し上げます。

卒業生の皆さん、八代高校・八代中学校で過ごした日々はどうだったでしょうか。それぞれが勉強や部活動、地域活動など一生懸命にされたこと、もう一步だったこと、良かったこと、そうでもなかったこと、いろいろあったと思います。ただ、明らかなのは、それらのすべてが卒業生の皆さんの現在の心や体の強さ、優しさ、しなやかさを作っているということです。卒業を機に、皆さんの世界はさらに広がっていきます。そして、そこにはやっぱりいいこともそうでないことも訪れると思います、それらを

プラスの方向に繋げていけるかどうかは、卒業生の皆さんの考え方やそれに基づく行動の選択次第だと思います。皆さんのこれからのチャレンジ、成長と飛躍がこれからの八代高校・八代中学校の生徒たちの道しるべになりますので、どうか自分を大切にしてい、自分らしく、元気に前を向いてがんばってください。

八代高校・八代中学校で学んだことや、友人との出会いを大切にしながら、感謝・奉仕・自己研鑽の気持ちをいつも忘れずに、これからも色々なことに前向きにチャレンジをして、卒業生の皆さんの一人ひとりが、今よりも前進されること、幸多き人生を創造していかれることを心から祈念いたします。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございませう。在校中は、学校行事やPTA行事等にご理解、ご協力をいただきありがとうございました。日々の生活では、勉強や部活動のこと、毎日のお弁当、学校生活の心配など大変なご苦労だったことと思えます。ご卒業後も、同じ時期に大切な子どもたちが同じ学校で学んだという縁で、これから先も八代高校・八代中学校のために何らかの繋がりを持ち続けていただければと思います。最後にありますが、先生方におかれましては、卒業生の

ために日々のご指導をいただき誠にありがとうございます。八代高校・八代中学校PTAでは、これからも卒業生のため、在校生のため、未来の八代高校・八代中学校のために、先生方とともに考え、行動し、学校の価値や誇りを高めていきたいと思ひます。引き続き、ご指導をよろしくお願いいたします。

卒業生の皆さんが、これからも元気に笑顔で前進していただけることを心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

中学校保護者代表謝辞



角口 明美
土井 理

日に日に暖かさを増し、桜の蕾もふくらみ始め、やわらかな春の訪れを感じる季節となりました。

本日は私どもの子供たちのために、厳粛な卒業式を執り行っていたいただき、誠にありがとうございます。卒業生79名の保護者を代表



いたしました。お礼の言葉を申し上げます。

校長先生をはじめ、すべての教職員、関係者の皆様、保護者一同心より厚くお礼申し上げます。

それから、卒業生の皆さん、今日この日まで健やかに育ち、こうして無事に卒業証書を受け取ってくれてありがとうございます。一人ひとりが胸を張って卒業証書を受け取る姿を見て、私たち保護者は感激で胸いっぱいです。

眼を閉じると、3年前、真新しいちよつとぶかぶかな制服に身を包み、大きな期待と少しの不安を胸に抱き、まだあどけない面立ちで八代中学校へ入学した日が鮮明に思い出されます。

そして、目を開けると心身ともに大きく、そして頼もしく成長した子どもたちが、



今、目の前にいます。中学3年間という月日の早さと成長に驚かされるばかりです。

先生方の暖かい励ましと熱心なご指導の下、勉強して、部活をして、笑って、泣いて、悩んで、時には怒って、友達と共に過ごした日々であったと感じております。

先生方には大変なご苦勞をおかけした事と存じます。重ね重ね厚くお礼申し上げます。

春から子どもたちは新しい世界へと巣立ち羽ばたいて参ります。

これからの3年間はそれぞれの進路を決める大事な期間になり、また自分が選んだ道を歩む事になります。

八代中学校で日々学んだこと、そして本日頂いた門出の言葉やご祝辞を胸に、新しい環境でも自分らしく輝きなが

ら、将来の夢や希望に向かって、一歩一歩歩んでいけるよう私も保護者も子供たちを信じ、愛し、見守り続けて参ります。

これから子どもたちが歩む先には、楽しいこともあれば、大きな障害や問題で悩むこともあると思ひます。

八代中学校で過ごした日々を思い出し、先生方へ相談する機会があるかもしれませぬ。どうぞその折には、今と変わらない暖かいご指導を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

最後になりましたが、熊本県立八代中学校の益々のご発展と、全ての先生方のご健勝とご活躍を心より祈念し、お礼の言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。ありがとうございました。



高校保護者代表謝辞



古田 浩二
上村 優子

寒い中にも、やわらかな春の訪れを感じるこの良き日に、このような素晴らしい卒業式を挙行していただきましたことを、校長先生をはじめ、諸先生方に、保護者一同厚くお礼申し上げます。

御来賓の皆様にお礼の言葉を、心温まるお礼の言葉や、激励の言葉は、卒業する子どもたちの胸に深く刻まれたことと思ひます。

僭越では、ございますが、保護者を代表し謝辞を述べさせていただきます。





校長先生をはじめ、諸先生方が朝早くから夜遅くまで熱心にご指導くださったご尽力のお陰で、本日、卒業の日を迎えることができました。

思い起こせば3年前、この伝統ある八代高等学校へ入学できたことを、保護者ともども誇りに感じました。

当時は、残念ながら、コロナ過で、通常通りの入学式でなかったと思います。この3年間、例年できていたはずの行事やイベントが、中止や変更を余儀なくされ、皆さんだけでなく、先生方も困惑しながらの日々だったと思います。しかしながら皆さんは通常の日々を過ごした人たちよ

りも、大きく成長したはずで、大変な時を乗り越えた人からこそ、人は大きく変わり、成長できるものだと思います。

この3年間で、皆さんは、八代高校のシンボルである鳳雛のように、世界に羽ばたく力を身につけ、私たちの期待に応えてくれました。

人の幸せについて、定義はいろいろありますが、幸せの定義の一つに「人の期待、他者の期待に応えること」があるともいます。皆さんは存在するだけで、私たち保護者の期待には充分応えているのですが、皆さんの夢を、「皆さんが叶えること」が、いつの間にか私たち保護者の夢になりました。本来であれば成人を迎える皆さんに対して、子供離れをしなければいけない私たちですが、もう少し、もう少しだけ、皆さんの夢に寄り添わせてください。迷惑だと思いませんが、どこまでも皆さんに期待しています。

高校を卒業すれば今まで以上に試練や困難が待ち受けていることでしょうか。しかし皆さんは自分に立ちほだかった壁を乗り越えられる力や知恵があります。諦めずに自信を持って進んでください。

最後に、八代高等学校の益々のご発展と、先生方の健康とご多幸を心より祈念いたします。お礼の言葉とさせていただきます。

PTA活動報告

中学2年レクリエーション

中学2学年長 清田 紗弓
塚本 慎一郎



去る2月11日、生徒においては、学年末考査の後、連休の中日という開放感マックスの状況下で中学第2学年親子レクリエーションを開催しました。ニュースポーツのモルックで競いました。生徒30名、保護者20名が参加し、八代市に依頼したスポーツ指導員の7名の方に補助いただき「楽しみながらの真剣勝負から生まれる親同士の絆(笑)」をメインテーマに始まりま



した。

开幕式では、学年長より挨拶及びドーピングの禁止(前日の飲酒などは発覚次第、即失格)などの説明が行われ、準備運動、ルール説明、練習などを経て試合開始です。

試合は、想像以上に白熱し、生徒も保護者も我を忘れて楽しみました。マット上での競技でしたのでモルックが予想外の方向に跳ね、コントロールが効かなかったのも面白さに拍車をかけました。生徒側6チーム中1位チームと保護者側4チーム中1位チームで、決勝を行いました。生徒は、攻守バランスが良く、パワフルなチームが勝ち上がり、保護者チームは、見るからに弱そうなのに奇跡

的なショット連発で、スポーツが得意そうな他チームを尻目にスルスルト勝ち上がりました。決勝は、生徒チームのワンサイドゲームで、5分以内の早期決着かと思われましたが、終盤、生徒たちがもたつく間に再びの奇跡ショット連発で何と保護者チームが優勝してしまいました。

表彰式で、優勝商品を受け取った喜びも束の間、学年長の前日のホテルキャッスルでの飲酒が発覚し、保護者チームはドーピング違反で失格になってしまいました。繰り上げで生徒チームが優勝し、盛り上がりは最高潮のまま、レクリエーションは、幕を閉じました。

中学第2学年のレクリエーションは、子供を通じて保護者同士の懇親を目的にしています。保護者同士の安定的な関係性が、子供たちにも良い影響を与えると思います。中高一貫の6年間は、子供たちの人生にとって、とてつもなく重要な時期です。進学校で遊びながらとされる方がいらっしゃるかも知れませんが、子供たちが余計な事で気に病むことが少なくなるように続けていこうと思います。興味を持たれた方は、次年度の参加をお待ちしています。

中学1年生レクリエーション

中学1学年長 遠山 友梨香
古閑迫 修

令和5年12月16日、コロナ禍明けのレクリエーション行事として、ドッジビーとアジャタを行いました。参加者も多かったため、生徒のチームと保護者のチームに分かれ、多くの試合を行うことができました。ドッジビーでは、柔らか



いフリスビーを用いてドッジボールを行いますので、初めての方でも簡単に参加することができました。保護者同士で初めてお会いする方々もいらっしやいました。プレイするうちにチームワークが生まれ、知り合いになれるいい機会ができたと思えました。

また、アジャタでは生徒も保護者もチームごとに一緒に戦略を考えたり、協力することができ、親交を深めることができたと思えます。

私たちPTAは、ドッジビーとアジャタについて知識は無かったのですが、当日、スポーツ推進員の方々が6名お越しいただき、ルール説明や審判、さらに時間計測と進行まで行っていただいたので、最後までスムーズにレクリエーションを執り行うことができました。

最後の解散まで皆がケガもなく笑顔で散会することができ、とても楽しかったです。

人権集会

高校1学年長 岡田 裕美

吉本 直樹

2月26日、令和5年度3学期人権集会(PTA高校生1学年および2学年共催)が行われました。



山口県人権啓発センター事務局長 川口泰司様を講師に迎え「ネット人権侵害と部落差別の現実」を行いました。

現在では、スマホが普及しSNSで、個人に対する誹謗中傷、いじめや差別が行われているのが現状だとつくづく思いしらされました。

八高でも、SNSでの誹謗中傷や、イジメ等がある話を聞きました。身近で、おこっていることを見て見ぬふりや、イジメ

八代中学校卒業論文発表会

2月27日、総学の時間に取り組んだ卒業論文が、クラスで選ばれた代表者によって、中学校の全生徒、先生、保護者の前で発表されました。発表者はスライドを巧みに活用し、堂々とした姿でプレゼンテーションを行いました。質疑応答も活発に行われ、充実したひとときになりました。



発表テーマ・発表者		
『嘘は見抜けるのだろうか?』	3年1組	角口 れいら
『ディズニープリンセスの秘密を解明』	3年1組	金子 結菜
『話題のVTUBERなぜ人気?』	3年1組	中村 心美
『人が情報を処理するときの傾向とは?』	3年1組	湯野 心音
『なぜアンパンマンは子どもから好かれるのか?』	3年2組	沖田 理心
『美しいと感じる色合わせ』	3年2組	土井 心陽
『密室を現実で作る?』	3年2組	丸山 真依
『なぜ猫は愛されるのか?』	3年2組	吉沢 ゆい

の加担に加わるのではない、いけないことは、いけない。と言う勇氣を見せることも大事だなと思えます。また、言えないならばすぐにでも学校の先生に伝えるのもイジメ等を防ぐ策だと思えます。また、今回だけでなく、来年、再来年と毎年、講演会が行われると良いかと思えます。



各種表彰

※()は組。

中学卒業生

3か年間皆勤賞

三藤 希実(1)	宮川 心寧(1)	山田 彩生(1)
上村 悠介(2)	内山 心結(2)	中嶋日南乃(2)
林田ひなた(2)		

八代学校保健会 優良賞・奨励賞

優良賞

秋岡 眞菜(1)	板平 樹耶(1)	岩本 圭正(1)
瓜生 安希(1)	金子 結菜(1)	高嶋 杏果(1)
田島 美桜(1)	野々口拓実(1)	濱田 咲希(1)
濱田真海子(1)	間柴 心結(1)	宮川 心寧(1)
元村 日哉(1)	山下 朔矢(1)	山田 彩生(1)
伊藤 隆翔(2)	稲田 音羽(2)	上村 悠介(2)
小早川光輝(2)	城 悠汰(2)	土井 心陽(2)
橋口 心咲(2)	廣瀬 太陽(2)	丸山 真依(2)

奨励賞

浦上 蒼大(1)	小林ユキア(1)	前田愛美香(1)
稲田 朔菜(2)	畑口 美優(2)	

熊本県吹奏楽連盟功労賞

湯野 心音(1)

生徒自治会感謝状

角口れいら(1) 住吉 晃大(2)

高校卒業生

PTA賞

高沢 葵(2) 緒方 敦基(3) 北岡 愛子(6)

同窓会賞

稲塚 馨(1) 泉 徳浩(4) 森永沙也華(5)

熊本県がんばる高校生表彰

金橋 瑠美(6)

令和5年度(2023年度)くまもとの笑顔・未来を創る児童生徒表彰

山村 美生(4)

熊本県高等学校体育連盟賞

伊藤 更紗(1) テニス部	財木 凌(3) 水泳部
園田 煌梨(3) 水泳部	上村 蒼月(6) 陸上競技部
大場 瑞樹(6) 陸上競技部	田辺 悠真(6) バレーボール部

熊本県高等学校野球連盟賞

中西 優斗(2)

熊本県高等学校文化連盟優秀芸術文化賞

橋口 晴(6) 物理研究部

熊本県高等学校文化連盟文化功労賞

上村 光(4) 美術部	小山 流星(5) 囲碁将棋同好会
守田 彩乃(5) 合唱部	

熊本県高等学校文化連盟図書委員功労賞

陣内 愛実(1) 和佐野弘輝(3) 徳島 里音(4)

熊本県吹奏楽連盟功労賞

平田 莉奈(6)

熊本県高等学校保健会長賞

江崎 怜花(4) 野田 倅(6)

生徒自治会感謝状

金橋 瑠美(6) 秋岡 祐菜(6) 田中 茉音(6)

3か年間皆勤賞

田尻 朋輝(1)	早田 凌(1)	坂田 未来(2)
高沢 葵(2)	竹見 綾華(2)	山田 梨月(3)
長舩 結子(4)	田中 彩華(4)	田上陽菜子(4)
徳島 里音(4)	西村 藍来(4)	溝内 康平(4)
宮島 朋子(4)	川上 春果(5)	川添 勇弥(5)
草原 愛佳(5)	中原 琉成(5)	本田真成美(5)
森田未夢羽(5)	森永沙也華(5)	下松谷 陸(6)
高田 蒼(6)	平松 大和(6)	本田 遥(6)
本村 美帆(6)		